

そうじの力だより

VOL.245



支援レポート

社員の「もっとよくしたい」という欲が出てきた

～生産性、人材定着率、コミュニケーションが着実に向上～

群馬県藤岡市の産業機械メーカー、(株)石井工機。社員数四〇名の、受注生産で省力機械などを製作する創業五九年のメーカーです。

ここで、三年弱前から、私がお手伝いして、環境整備(整理・整頓・清掃)の取り組みが行われています。

当初は、工場や倉庫が手狭で、増築も検討していたそうですが、最初の一年間かけて不要なものを徹底的に捨てたことでスペースが生み出され、今では工場も倉庫も、余裕のある生産性の高い空間になっています。

各部署から選抜された推進メンバーで委員会が構成され、彼らを中心に、して取り組みが進められています。



金属研磨機の汚れを落としているところ

最近では、各部署で現場の社員さんが「もっとよくしたい」「ここをこうしたい」という意味での欲が出てきたようで、私が見ていても、「えっ、こんな工夫までしているの」と驚くような取り組みがあちこちで見られるようになってきています。

加工グループは、旋盤やボール盤、

フライス盤などを使って、金属加工を行っています。やっかいなのが、切削油の飛び散りです。機械や壁、床に油分がこびりついています。

こうした油污れを、徐々に落としていっています。切削油や切粉の飛び散りを防ぐための衝立は、当初は茶色く汚れていました。

が、磨くことで

本来のクリーム

色が見えてき

ました。

衝立

の色が白

くなる

だけで、工場内も明るくなります。

また、五面加工機という大柄な機械があるのですが、その切削油を、これまでの粘度の高いものから粘度の低いものに変更しました。この工夫によって、油污れを落とすやすくなったと言います。

組み立てグループでは、当初その辺に無造作に置かれていたエアホースやスリングを壁掛け式にして、視認性と使い勝手をよくしました。

重たい機械などの下に敷く枕木は、当初は何の目印もなかったのですが、ステンシルで会社のロゴマークを入れたこ



衝立を磨くとクリーム色の地肌が！

とで、ちゃんとした道具だとい



枕木にステンシルでロゴマークを入れた

料や電子部品など、仕入れた材料を保管・管理する部署です。当初はマネージャーが推進メンバーだったのですが、今年度から、入社三年目の若手が推進メンバーになり、先輩たちを引っ張っていつてくれています。



溶接の道具を壁掛け式で整頓

鋼材置場のレイアウトを変更したり、端材置場の保管期限のルールを見直したりして、資材倉庫をより広く使えるように工夫しています。

営業グループは、これまで手を付け ていなかった、敷地の一番奥にある倉庫内の整理に取り組んでいます。古い

書類や、何年も使われていない機械装置や材料を処分することで、倉庫内がスッキリと広くなりました。



尿石のこびりついた便器と格闘する社員

設計グループは、社内のITネットワーク系統図を作ってくれました。同社では、業種の特性上、かなり複雑な配線が張り巡らされており、どの配線がどこに繋がっているのかわかりにくかったのですが、これで全体像が把握できるようになりました。

総務グループは、社員が食事などで使う休憩室を、ガラス窓やブラインドのそうじをすることで、快適にしてくれています。

また、事務所の窓ガラスに遮光フィルムを貼ることで、西日の眩しさをやわらげてくれています。

石井安美社長は、環境整備の取り組みによって、生産性が上がリ、社員の定着率も上がり、社内のコミュニケーションもよくなつており、間違いなく会社がよくなくなっていると、手こたえを語ってくれています。(小早)



コラム

なぜ神社はそうじが行き届いているのか？
～自分自身を清めるのが神事～

私は神社めぐりが好きで、最近も、島根県東部での仕事に合わせて出雲大社に参ったり、友人との阿蘇・久住の山登り旅行の中で、阿蘇神社や宇佐神社に参ったりしています。

といつて、それぞれのご祭神や由緒に詳しいわけでもなく、祝詞やしきたりについて知識があるわけでもありません。



大分県の宇佐神社(八幡宮の総本社)

ただなんとなく、神社の静謐な雰囲気が好きなのです。

神道には、教祖や教義がありません。来る人拒まずで、誰でも受け入れる度量があります。キリスト教徒であろうがイスラム教徒であろうが、神社をお参りすることは、まったく問題ないのです。

神社では、ただ頭を垂れて、祈りを捧げればよいのです。

そんな神社は、どこに行っても、境内がきれいです。タバコの吸い殻やペットボトル、紙くずなどのポイ捨ては、まず見かけません。落ち葉はきれいに掃き清められています。

まず第一に、神職さんたちやボランティアの人たちが始終そうじをしているおかげでしょう。大きな神社に行くと、竹ぼうきで境内をそうじしている人たちを、そこそこ見かけます。

もちろん、それだけではなく、神社を訪

れる人々が、ポイ捨てをしないということでしょう。

神社では、お参りする際に、まず手水をして、身を清めます。なぜ身を清めるかと言えば、身を清めることが心を清めることにつながるからです。

心というのは、形がないので、目には見えません。だから、いきなり心を清めることは難しいのです。

そこで、物理環境を整えることを通じて、自分の心を整えるのです。

そうじは、まさに物理環境を整える行為です。境内を掃き清めながら、自分の心を掃き清めていくのです。

神社の本殿の中には、実は鏡が入っています。その鏡の前に立つと、何が見えるでしょうか。そう、私たち自身の姿が見えるのです。つまり、自分自身を省みよ、ということなのです。

銀座まるかんの創設者で日本一のお金持ちと言われた斎藤一人さんの講話CDを聴くと、「そうじは神事」という言葉が出てきます。祝詞をあげたりお祓いをするだけで神事なのではなく、そうじこそが神事だと言っています。

神社で願い事をする人は多いですが、それは神様にすがる他力本願というよりは、むしろ自分自身がその願いに向かって努力する誓いを立てている、という見方もできます。

そうじをして、自分の身と周囲の環境を整えることで、その決意がよりいっそう強固なものになる、ということでしょう。

(小早)

編集後記

3年連続

11月3日に行われた群馬マラソン10kmコースに出場してきました。

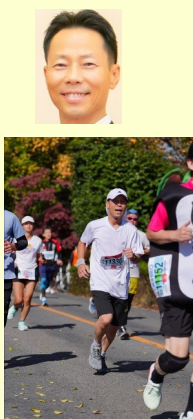
タイムは56分55秒で、昨年より18秒縮めることができました。

これで3年連続の出場で、3回とも目標の1時間を切ることができました

もともと走るのが苦手だった私ですが、少しずつ走ることができるようになり、こうして3年連続で自己記録を更新できたのは、我ながら立派と、満足しています。

何事も、「継続は力なり」ですね。

(小早)



飛鳥のつばやき

再開

謎解きが趣味の私。

数年前幼児だった子供たちを連れて、地下鉄に乗りチェックポイントを巡るタイプの謎解きに行くも(無謀)、子供たちがじっとしているはずもなく、じっくり考える時間が取れず撃沈したため、しばらくは控えていました。

今回数年ぶりに子供たちを連れ、謎解きに挑戦！長男も次男も少しずつ一緒に解けるように！感動！！(；▽；)

一緒に楽しめる嬉しさを噛みしめています。(大概)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は「そうじ＝整理・整頓・清掃」を通じた企業風土改革を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)